

うたづ 議会だより

2020
第75号
2.1
香川県宇多津町

～入浜式復元塩田 初釜神事～

かつて日本有数の生産規模を誇った宇多津の塩づくり。その歴史を後世に伝える復元塩田で、今年も初釜神事が行われ、関係者が参列しました。現在「宇多津 入浜式の塩」は六本木の有名シェフにも認められるほどです。



- 町政を問う 「大松杯の課題と展望」 ほか 7
追跡調査 宇小校区に児童館と公園 6
議会報告会 「ハザードマップをわかりやすく」 16

子育て世帯の負担を軽減



運動会で元気に演技をするこども園の園児たち

令和元年第4回定例会は12月5日から12日まで開催され、補正予算に関する議案3件、条例改正などの議案9件を審議しました。慎重に審議した結果、すべての議案を原案通り可決しました。

一般質問は12月6日と9日に行われ、論戦が繰り広げられました。(一般質問は7ページから)

おもな内容

令和元年度一般会計補正予算

2023万円(全会一致で可決)

幼稚園・保育所の無償化

(1600万円)

国の施策である幼稚園・保育所の無償化の一環で定めた補正予算。国・県からの補助と合わせてこの金額となっている。実質の町の負担は260万円程度となっている。

5ページに関連記事

太鼓台の修繕

(250万円)

(財)自治総合センターの助成金を活用し、太鼓台修繕の経費に活用する。

4ページに関連記事

海ホタルの修繕

(200万円)

海ホタルの設備の経年劣化による損耗を修繕する。

4ページに関連記事

ごみ処理場の修理

(330万円)

坂出市と共同で運営しているごみ処理場の老朽化にともない、定期修理の追加工事費用をごみの投入量割で負担する。

条例改正

人事院勧告による期末手当の引き上げ

町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
(賛成多数で可決)

町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例
(賛成多数で可決)

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(全会一致で可決)

令和元年度の人事院勧告による期末手当や勤勉手当に関する条例整備である。

今年度から現状より期末手当が0.05月分引き上げられた。



本会議 議員の賛否

○は賛成、×は反対、欠は欠席

おもな審議案件		神出 佳宏	水本 富美子	港 一紫	大黒 一也	井上 弘治	西本 祐子	濱中 保夫	大松 喜次郎	宮本 隆	藍川 佳津樹
議 案	令和元年度 宇多津町一般会計補正予算(第4号) ・幼稚園や保育所の運営費補助 ・産業資料館の整備 ・太鼓台の修繕 ・ごみ処理場の定期修理	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	令和元年度 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は可否同数の時のみ、 裁決を行う	○
	令和元年度 介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	地方公務員法・地方自治法の一部改正の法律の施行にともなう条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	一般職の任期付職員職員の採用に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	町議会議員の報酬・費用弁償に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○		○
	町長・副町長・教育長の給与に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○		○
	町の一般職職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	手数料条例の一部改正 (狂犬病の予防接種 手数料の見直し)	×	○	○	○	○	○	○	○		○
	子どものための教育・保育に関する利用者負担額に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営の基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○		○

議会だより

モニター募集

議会だよりのモニターを募集しています。年4回発行される議会だよりをお読みいただき、アンケートに答えていただきます。町内にお住まいの方なら、年齢・性別を問いません。お申し込みは、TEL・FAX・✉で、住所・氏名・電話番号・年代をお知らせください。

TEL 49-8014 FAX 49-8078

✉ gikai@town.utazu.kagawa.jp



補助金活用で防災・防犯

総務建設常任委員会関連

家具の転倒防止対策

- Q** 「家具類転倒防止対策促進事業」で10世帯分の補助があるが、募集はするのか。
- A** 今回は県主導のモデル事業で日程などの事情もあり、モデル地区を決めるため、連合自治会にはかっている。
- 来年度は町の事業として実施したいと考えており、その際は広報誌やホームページで広く周知し募集したい。

危機管理課

防犯カメラの更新

- Q** 県の補助金を受けて防犯カメラ5基を取り換えるが、どの場所か。
- A** ゴリラ公園、富士見橋東、富士見橋西など5か所。
- Q** 新設はないのか。
- A** 更新のための補助金を利用しているため、新設はない。

住民生活課

自主防災組織の資機材

- Q** 自主防災組織には資機材などの購入への補助があるが、その内容は。
- A** 各組織によって様々だが、防災倉庫設置、スコップなどの工具のほか、ヘルメットや防災ラジオ、備蓄食料などを購入しており、これに対して半額を上限25万円まで補助している。



マンションに設置された防災倉庫

危機管理課

海ホテルの店舗

- Q** 海ホテルにあった店舗が撤退したが、新たな店舗は入らないのか。
- A** 店舗を予定しており、施設の補修などが完了次第、公募する予定。
- [②ページに関連記事](#)

まちづくり課

太鼓台の修繕

- Q** 太鼓台の修繕に対する助成は教育委員会の所管もあると思うが。
- A** 今回の補正は自治会などの申請を受けて、太鼓台や獅子の整備費用などに対して（財）自治総合センターが採択した助成金に対応しているもの。町では平成27年度からこの助成金を活用しており、今回は横町自治会。
- [②ページに関連記事](#)

まちづくり課

子ども・子育てに手厚い給付

教育民生常任委員会関連

狂犬病の予防接種

- Q** 町の犬の登録件数と狂犬病接種率は。
- A** 犬の登録が964頭、接種率は73.9%で香川県下では第2位である。
- Q** 報告のない死亡した犬の数も含まれているのか。
- A** 5年間注射をしていない飼い主に、ハガキを出して現状確認をし、原票を抹消している。
- Q** 値上げされた香川県の接種料金は、全国平均より高いのか。
- A** 平成29年度は香川県が最低料金で、最も高かったのは神奈川県の3,050円。
- Q** 今回の値上げは消費増税が関連するのか。
- A** ワクチンの原材料費値上げと消費増税にともなうものである



予防接種を受けた犬は、首輪にこの票をつけている

住民生活課

子ども子育て臨時交付金

- Q** 保育・教育に関する費用が無償化されるが、対象者には通知されているのか。また、申請は必要なのか。
- A** 各施設に知らせており、そこで申請書の提出をお願いしている。
- Q** 一時保育やファミリーサポートセンター事業利用の免除の条件は。
- A** 1号認定の子どものうち、新2号・新3号（新たに長時間保育が必要になる）の子どもが、一時預かりやファミサポを利用する場合、無償となる。 [②ページ](#)に関連記事

1号認定・・・幼稚園などに通う3～5歳児
2号認定・・・保育園に通う3～5歳児
3号認定・・・保育園に通う0～2歳児



「おひなさん」で踊る園児

保健福祉課

担当課をわかりやすく

- Q** 保育園・幼稚園・こども園の担当課を利用者にわかりやすくできないか。
- A** 予算的には、幼稚園は教育委員会、保育園・認定こども園は保健福祉課になっている。担当課も施設ごとで区分されている。

教育委員会・保健福祉課

給食・副食費の負担

- Q** 低所得世帯では、逆に給食・副食費の負担が増えるのでは。
- A** 非課税世帯は、給食・副食費も無償化している。
- Q** 国としては副食費は対象外だったのでは。
- A** 町では非課税世帯の副食費は無償化している。

保健福祉課

町政を問う (一般質問の件名)

港 一紫	・大松杯の課題と展望
大黒 一也	・緊急車両のスムーズな到着は ・使用者の義務と責任
井上 弘治	・北小学校正門前の道路環境を問う ・全国自治体で赤字決算が出ているが ・町の総合戦略と第2期策定
西本 祐子	・駅前での歩きタバコ禁止を ・消防団員や屯所設備の充実を
濱中 保夫	・浜五番丁交差点の事故 ・SDGsにないLGBTの権利
大松 喜次郎	・ふるさと教育の充実を願う ・避難行動要支援者の個別計画の作成は
藍川 佳津樹	・高齢者の孤独死予防策 ・コミュニティ・スクールの進捗状況 ・児童教育支援のあり方の検証
神出 佳宏	・高校生・大学生の奨学金制度を ・町の助成制度の一覧化を ・消費税増税による町民の生活の影響 ・四国初の日米軍事演習と町民の安全
水本 富美子	・四国水族館の周辺環境は ・がん検診受診率の推移と現状

一般質問とは・・・
定例の議会で行われます。
議員は**行財政全般**にわたって、政策提言することができます。そのため、前もって**通告**をし、質問をする議員も受ける執行部（町側）も十分な準備をします。宇多津町議会では通常、開会後**2日目と3日目**に一般質問を行っています。

追跡調査

宇小校区に **待ちに待った** 児童館と公園

宇多津小学校区に待ちに待った児童館と公園が建設されることになりました。場所は宇多津小学校から少し南に下った津之郷北地区。今後は放課後児童クラブやキッズプラザ利用者などからも意見をうかがい、利用しやすい児童館を目指しています。

当初の計画通り、子どもたちの憩いの場としてだけでなく、地域住民も集える児童館になる予定です。購入した土地に児童館と公園、駐輪場・駐車場をどのように配置するのかなども調整していきます。



子どもたちだけでなく、世代を超えた交流の場が期待される

大松杯の課題と展望

生涯学習課長 スタッフは近年減少傾向にある

問 本町の大松杯は、宇多津町名誉市民の故大松博文氏の偉業を称えるとともに、バレーボールの振興・発展や宇多津町民と他県の方々とのふれあいを図るのを目的とした町を挙げての一大イベントである。

しかし近年、大松杯を支えるスタッフの減少や予算の増加など四半世紀を経つた今、いろんな課題がみえてきた。

大松杯に関わるスタッフの人数は減少しているのか。減少しているのであればそれは何が原因か調査しているのか。

今津生涯学習課長 大松杯のスタッフは近年減少傾向にある。スタッフの高齢等

により活動が難しくなってきた事が原因。競技スタッフの必要人数は確保しているが、あり方について検討し若い人達にも声をかけて対応していく。

問 一般会計である放送委託料を毎年120万円計上しているが、視聴率ほどの程度か。大会の映像は参加チームに対して参加記念としてDVDなどにして送ったりしているのか。

今津生涯学習課長 視聴率は今回は1.1%、23回大会は2.9%だった。視聴率が見込めるようにOHKと協議しながら進めたい。大会映像は参加記念にDVDにして各チームに送っている。

問 スタッフや参加者の減少もあり、今後の大松杯のあり方を見直す良いタイミングではないかと思うが、町として大松杯をどのように考えているのか今後の展開をうかがう。

今津生涯学習課長 今後ママさんバレーボール大会として継続して実施していきたい。

問 大松監督は育成にも力を入れておられた。今後は宇多津の大松杯から世界へ羽ばたく選手が生まれる大会にしていけば、50回、100回と未来に継承される重要なあり方だと思

う。ジュニアバレーボール大松杯にするお考えはあるのか。

今津生涯学習課長 ジュニアへの変更は考えてない。記念大会などには、ジュニアバレーボール部や中学校バレー部と選手との触れ合いの場や経験者によるバレーボール教室を実施して、ジュニアの育成や競技人口の拡大を図りたい。



みなと かずし
港 一紫 議員



故大松博文監督



だいこく かすや 大黒 一也 議員

緊急車両のスムーズな到着は

危機管理課長 緊急車両はスムーズな運行になっている

問 身近にある生活道路は、災害時の避難路を確保するために重要な役割を果たしており、町内には、消防車や救急車が直進は出来るが右左折できない狭い道路があり、進入できないと、防災面安全面でも問題が生じて、時間がかかるのではないか。緊急車両がスムーズ

な現場到着、搬送できる対応はどのようになっているのか。

近藤危機管理課長 消防車

は発生現場に一番近い消火栓・ため池などの水利を指し、火点と水利の最も適切な場所に車両を止め、ホースを伸ばすことで対処、

救急車は行ける所まで進入し、その先はストレッチャーでのスムーズな搬送になっている。

問 119番登録制度の現状と再度周知広報していたきたいが。

近藤危機管理課長 今年度の全登録は11月末現在2727名、そのうち宇多津町は130名。窓口が坂出消防署なので、制度の趣旨については広報誌や地域の防災講習会などの場を利用して今後も高齢者に周知をしていく。

使用者の義務と責任

副町長 免許証や自動車保険の確認については検討する

問 自動車は日常生活に欠かせないものとなっており、常に交通事故と隣り合わせた危険性を持った社会問題になっている。本町の職員も大半が通勤手段としてマイカーを使用しており、交通事故も起きることも、更に事故形態によっては使用

者責任を負うことも。マイカー職員の実態把握の為に免許証または自動車保険の加入確認を調査してみてもどうか。

亀井副町長 マイカー通勤

において、直接現場への送迎など、その状況によって

使用者責任を認められた判例もある。今後法的な解釈、実情などを詳しく調査し、免許証、自動車保険の確認については検討する。

問 本町の職員の定期的な免許証の確認をしていただきたいが。

亀井副町長 日々運転業務に当たる環境衛生部門の職員は毎年、確認をしている。今後とも意識づけとして懲戒処分等の基準要綱での処分対象となる無免許運転、無資格運転などについても職員には強く周知をする。確認については検討する。



いのうえ こうじ
井上 弘治 議員

北小学校正門前の道路環境を問う

教育次長 必要に応じ対策を講じる

問 北小学校の正門周辺。

ここに宅急便などの搬送車の駐車が停車。この正門のすぐ横に横断歩道がある。登下校時に停車したトラックの車体で対向する自動車の運転手の視界から児童の

姿が見えない。この道路は、自動車の交通量が多く自動車のスピードが速い。学校の正門前が危険度高い。補助制度として国交省の防災安全交付金が利用できる。この対策について尋ねる。

中谷教育次長

児童の通行に危険があるものと認識した。速やかに学校と事実確認し、今後の安全確保について関係者に注意喚起した。最近、移動式速度測定器の運用が開始されており、低

速度での走行が浸透すると考える。現状を再度確認し、対策を講じる。

全国自治体で赤字決算が出ているが

副町長 本町の財政は健全運営を行ってきた

問 全国の市町村自治体で

赤字決算の団体が平成29年度3団体。平成30年度が1団体。地方債の発行に総務大臣等の許可を必要とする自治体もいくつか出ている。そこで『地方公共団体の財政健全化に関する法律』について、本町の財政状況について尋ねる。

亀井副町長

夕張市の財政破綻を契機に財政健全化を促進する目的に制定された自治体財政を公表し、早い段階から健全化に向けた対策を実施するのが狙い。本町の財政は健全運営を行ってきたと認識する。

問 近年、県内の自治体が

連続して、この実質単年度収支の赤字決算をしている。この指標は決算書に掲載されない。財政の講師の表現は『財政に関する中性脂肪が溜まっていく指標』と言う。財政の健全化指標のみならず実質単年度収支も含んで持続可能な財政運営を問う。

谷川町長

職員一人ひとりが財政状況に対する危機意識、コスト意識を持つと共に知恵と創意工夫により持続可能な財政運営に努めていく。



にしもと ゆうこ
西本 祐子 議員

駅前での歩きタバコ禁止を

住民生活課長 駅前などを「ポイ捨て重点区域」にする

問 最近、宇多津駅前の歩道に、タバコの吸い殻が多く捨てられていると聞く。令和2年3月には水族館も開業し、さらに観光客が増えるので、駅周辺を路上喫煙禁止にしてはどうか。歩きタバコは特にベビーカー

にとつては危険。幸い駅に喫煙所があり、喫煙者もそんなに不便になるわけではない。ぜひ導入いただきたいが。

今井住民生活課長 駅前でもボランティア清掃や環境

パトロールなど環境美化に努めている。駅構内は終日禁煙で駅北口に喫煙場所を設置している。水族館開業などで観光客増加も見込まれる。表示型の啓発看板を設置するほか、駅から水族館までの区域を「ポイ捨て



歩道にこんな表示があると、タバコを吸いにくい

重点区域」として環境パトロールのコースに加えたい。

消防団員や屯所設備の充実は

危機管理課長 団員募集を充実し、屯所設備も見直している

問 3年前は「定員108名に対し、100名の団員がいて問題ない」という回答だった。しかし9月議会で、定年を延長しなければ人材不足に陥る厳しい現状になっていった。地域の住民の近くで活動することの多い消防団員は、災害時にはとても重要な役割を担う。

若手の加入が進まないようだが、どのように募集や勧誘をしているのか。また、地元企業などへの協力の呼びかけは。大切な待機場所となる屯所設備は充実しているのか。

近藤危機管理課長 現在、団員は99名が在籍している。

団員の募集については、広報誌、町のホームページのほか、現役団員による勧誘を行っているが、企業などへの呼びかけはしていない。各分団に問い合わせ、エアコンなどの付け替えを行った。また、トイレのないところは自治会長の了解でコミュニティ分館のトイレ

問 協力企業にはメリットもある。少年消防クラブの取り組みは。

近藤危機管理課長 企業の協力や教育現場への呼びかけなどは今後の課題として検討したい。

浜五番丁交差点の事故

住民生活課長 交差点北側の町道にて右折レーンの設置工事

問 日本損害保険協会作成の「全国交通事故多発交差点マップ」によると2018年に県内で最も人身事故が多かったのは、「浜五番丁交差点」で12件。内訳は追突6、右折直進2、左折

時1、出会い頭1、人対車両2、合計12件。来年3月の四国水族館のオープンにともない早めの交通事故対策を考えるべきだと思いが、町及び警察の対応は。

今井住民生活課長 交通事故 い合わせたところ四国水族館開業にともなう周辺整備により、交差点北側の町道にて右折レーンの設置工事が予定されている。

SDGsにないLGBTの権利

住民生活課長 導入についても調査研究をしていく

問 持続可能な開発目標「SDGs」で、ジェンダー平等を実現しよう、人々の国の不平等をなくそう、平和と公正をすべての人になどは書かれているが、LGBTはどこにも述べられていない。世界で50の国しか、法的効果がある結婚やパートナーシップ制度を導入し

ていない。しかしSDGsの大きなテーマ「誰ひとり取り残さない」と言っている。そこで宇多津町ではパートナーシップ制度は可能か。

今井住民生活課長 2030年までに達成すべき持続可能な開発目標SDGsは、

17の目標と169の具体的な目標で構成され「誰ひとり取り残さない」という大きなテーマを掲げている。本町においても、性的少数者の方々が自分らしく安心して暮らせる町になるよう、一層の啓発に努め導入についても調査研究をしていく考えである。

谷川町長 三豊市が今年度、高松市が来年度にパートナーシップの制度を導入するという報道がなされている。私としては調査研究し、そんなに遠くない時期になるのではと考え、議員各位の意見も聞きたいと思っている。



はまなか やすお 濱中 保夫 議員



だいまつ きじろう 大松 喜次郎 議員

ふるさと教育の充実を願う

教育次長 地域の伝統文化に対する理解を深めている

問 県外の大学などに進んでも宇多津に帰って就職するとか、県外で就職してもふるさとに愛着や誇りをもてるような充実したふるさと教育をして欲しいと願う。どのような学習をしているのか。

答 社会科の副読本「のびゆく宇多津町」を3・4年生で使用しているが、低学年はどうか。また、データの古いもの、制度が変わったりして実情に合わないものが少なからず見られる。

中谷教育次長 取り組みとしては、地域の伝統文化を学習する機会の充実である。町家とおひなさんや秋の例大祭など、身近な行事に関わっている。低高学年は使用してないが、ふるさとの大切さやま

ちの防災などについて考える授業をそれぞれの時期に応じて学習している。副読本は内容を再確認する必要があると思っています。

避難行動要支援者の個別計画の作成は

危機管理課長 早急に対応していかなければと考えている

問 10月の台風19号の豪雨で、要支援者に位置づけられる高齢者が多く亡くなっている。町の要支援者名簿に何人が登録しているのか。防災計画には、地域と連携し、個別計画の作成に努め、災害時に効果的に利用することで適切な援護を行う

答 うとあるが、しているのか。また、自治会も家族葬が近年急激に増え、隣同士でも死亡や入院入所の情報がなくなりつつある。どのように考えているのか。

である。個別計画は実際に誰が支援し、どこに、どんな手段で避難するのか、実効性のある計画となっていないものもあり、その精査ができていないのが現状である。

での支援者の確保については、重要な課題であると認識している。個別計画作成と支援者確保は、保健福祉課、地域包括支援センターとも連携し、早急に対応していかなければと考えている。

近藤危機管理課長 11月1

日現在、登録者は471人

近所付き合いが薄れている状況や自治会のない地域



あいかわ かつき
藍川 佳津樹 議員

高齢者の孤独死予防策

保健福祉課長 高齢者の行動あつての効果。啓蒙活動に注力。

問 今年の8月に町内で高齢者の一人住まいの方が亡くなった。

最近が高齢者の孤独死事例が増えつつある。そこで次のことをお尋ねする。

- ① 本町の単身世帯高齢者数
- ② 今後の単身世帯高齢者数の推移の予測
- ③ 過去の町内で孤独死と思われる高齢者数

④ 単身世帯高齢者への現行扶助施策

⑤ 現在の扶助施策の過不足の検討と孤独死予防策

宮脇保健福祉課長

- ① 種々の統計から推定700～800人と思われる。
- ② 高齢者人口比率が19%から令和45年には30%に増加予測（国立社会保障・

- ③ 人口問題研究所による。過去3年の平均で年間3～5件の事例が疑われる。
- ④ ふれあい見守り活動（郵便・新聞・食事の宅配）緊急通報装置貸与事業などで対応。
- ⑤ どの施策も高齢者の行動があつて効果が発揮できる。更に周知啓発を行っていく。

問 現行の事業のみでは発見が遅れる可能性が高い。今後更に有効な施策、例えば財源は要るが、警備会社に委託するとかを考えてはどうか。

宮脇保健福祉課長 費用と

か高齢者の受益と負担に対する考えもあるので、まずは現行の諸事業の周知徹底を行っていききたい。

コミュニティ・スクールの進捗状況

教育長 来年度前期に学校運営協議会を設置

問 コミュニティ・スクールについては文科科学省の旗振りで平成29年4月から始まった制度で、何度か取り組みについてうかがってきました。

新教育長も教育次長の時

代に関心を持っていたと聞いている。新任早々だが早速に組織立ち上げの進捗をうかがいたい。

高瀬教育長 本事業について

では事前研修などで、その

必要性を再認識した。平成30年度に地域学校協働活動推進員を1名雇用、地域協働活動をスタートした。

今後の取り組みは、今年度中に関係規則を整備し、同時に関係機関で、目指す

方向や活動のイメージを統一していく議論を経て、令和2年度前半に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを導入していきたいと考えている。



かんで よしひろ
神出 佳宏 議員

高校生・大学生の奨学金制度を

教育次長 町もその必要性などについて検討している

問 6月議会で「大学の学

費が年間50万円以上かかり、奨学金を借りる人が増えている。しかし、新卒者は収入が少ないため返済が大変という実態がある。町独自の奨学金返済支援制度を求めると質問をし、町単位では実施されていないため、県内他市町の動向を注

視したいとのことだった。

再調査をしたところ、県内では多度津町と綾川町で実施している。本町でも町独自の対策を講じてはどうか。

中谷教育次長

去る6月の議会で「奨学金制度は国県や支援機構で対策がなされており、必要性の高まりに

応じ動向は注視していき

たい。」と答弁した。県内全市町で何らかの取り組みがあり、町独自の支援制度を他の支援制度も含め、どのようなものが、学生や保護者にとって有効で効率が高いか研究し、制度化を図りたい。



町の助成制度の一覧化を

副町長 ホームページ、ガイドブックなどで周知している

問 町ではさまざまな施策

により、町民は助成を受けられる機会がある。しかし、助成の種類・担当課は多岐にわたり、町民からどの課での助成かがわかりにくいという声も聞く。各担当課の助成を一括し、対象者ごと

に区分けすることで、町民は助成を受けやすくなり、職員にとっても課同士の連携がとれ、住民サービスの向上につながるのではないかと。助成を一覧化して広報などで周知してはどうか。

亀井副町長

本町ホームページで助成一覧表を掲載し、「助成・補助制度」の見出しを開くと詳細が閲覧できる。また、「暮らしの便利帳」を町民や新たに転入する方に配布し、行政分野ごとに助成・補助制度の情報

を掲載している。広報などでの周知の提案だが、ホームページを準用するなど、方法を検討したい。

四国水族館の周辺環境は

住民生活課長 四国水族館事業者に対応していただくようお願いしている

問 2020年3月に、四

国水族館がオープンする予定である。それにもない周辺地域の住民は大きな不安を抱えている。例えば、水族館以外の店舗への乗用車の出入りの問題、ごみ等のポイ捨ての増加、交通渋

滞を原因とした事故のトラブル、更に様々な苦情や問い合わせに対し、町ではどのような対応を考えているか。また、ベビーカーや歩行者の安全をどう守るのかわうかがう。

今井住民生活課長

周辺住民が安全安心に生活できるような交通環境を確保するため、交通対策委員会を設置し、検討を重ねてきた。委員会では、交通渋滞の緩和を図るため、交通量調査

導計画、案内標識、駐車場の確保など協議してきた。様々な苦情、要望、問い合わせなどについて四国水族館事業者が誠意を持って対応を講じていただくようお願いしている。

がん検診受診率の推移と現状

健康増進課長 早期発見、早期治療に向け取り組んでいる

問 宇多津町におけるがん

検診受診率の推移と現状についてうかがう。また、個別の勧奨・再勧奨の実施状況について尋ねる。

井原健康増進課長

大腸がん検診は、平成30年度19.7%で、この5年間で高い伸び率となった。胃がん27.4%と肺がん18.8%は

横ばいの状況。乳がん検診は平成29年度27.9%で県内5位。子宮頸がんは28.6%で県内1位。この2つの検診は、全国平均を10%以上上回っている。平成25年度より、東京大学医学部放射線医学教室准教授の中川先生をアドバイザーとして迎えている。町として一人でも多くの方に検診を受

けていただくため、きめ細かな受診勧奨を行っている。

問 乳がんの早期発見に役立つ、乳がん自己検診用グローブの導入は。

井原健康増進課長

セルフチェックはグローブがなくともパウダーで同様の効果がある。まず、年1回の検

診の受診勧奨を進めたい。



ハザードマップをもっとわかりやすく

第16回 議会報告会

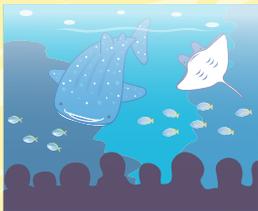
11月16日、保健センターで「第16回議会報告会」を開催しました。参加者は21人で、平成30年度の決算と令和元年度の事業説明などをしました。

フリートークではテーマに沿った貴重なご意見をいただきました。今後の町政や議会の取り組みに活かしていきます。



フリートーク 「安全な まちづくりを目指して」

- ・ハザードマップをもっとわかりやすく、字も大きくしてほしい。
- ・警報の出し方をもっとわかりやすくしてほしい。
- ・水族館オープン後の渋滞や緊急車両の対策を。
- ・水族館の住民説明会は、いつあるのか。
- ・浜五番丁交差点の南北の信号機に、右折の補助信号を設置してほしい。
- ・県道33号線の役場前の交差点は、右折の大型車がいると大渋滞になる。直進車が妨げられて、とても危険。
- ・所有者不明の空き家が危険な時、町はどう対応するのか。
- ・通学路に防犯カメラを増やしてほしい。



これを受けて議会から町に、町から水族館側に申し入れをし、説明会が開催されました。1月13日にユープラザで行われた会には、約150人ほどが参加しました。

アンケートより

- ・防災無線が聞こえない。
- ・交通事故の防止対策をお願いしたい。
- ・議員はもっと町を強く指導するべきだ。

あとがき

昨年は地震、台風や異常気象による局地的な集中豪雨、国会では日韓関係、桜を見る会の問題等の騒ぎもあり、あっといいう間に令和元年が過ぎ、季節も変わり、すっかり冬本番で寒さが厳しくなっております。

この時期は風邪やインフルエンザが増える時期でもあり、その対策の基本は、やはり手洗い・うがい・十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めることも大切なポイントではないかと思えます。加えて水分補給は夏だけでなく冬も重要で「水分補給」によって喉や鼻の粘膜を潤すことで、ウイルスの侵入を防ぐこともできます。

自分は大丈夫という油断は、魔に付け入る隙をあてえまますので、付け入らせない健康管理を。

(大黒 一也)

議会広報特別委員会

委員長 西本 祐子

副委員長 大黒 一也

委員 神出 佳宏

委員 水本富美子

委員 港 一紫

発行責任者

議長 宮本 隆